

## 平成22年3月期 第2四半期決算短信(非連結)

平成21年11月5日

上場会社名 株式会社トラスト

上場取引所 東

コード番号 3347 URL <http://www.trust-ltd.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 伊藤 誠英

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長

(氏名) 伊藤 和繁

TEL 052-219-9058

四半期報告書提出予定日 平成21年11月9日

配当支払開始予定日

平成21年12月11日

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年3月期第2四半期の業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

## (1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	1,638	△23.4	89	△53.2	119	△48.7	72	△21.4
21年3月期第2四半期	2,139	—	191	—	232	—	92	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	278.66	—
21年3月期第2四半期	342.11	—

## (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	4,130	3,195	77.4	12,253.69
21年3月期	4,078	3,136	76.9	11,941.96

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 3,195百万円 21年3月期 3,136百万円

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	100.00	—	100.00	200.00
22年3月期	—	100.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	100.00	200.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年3月期の業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,751	△4.7	165	△35.4	221	△29.4	136	20.1	521.06

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

〔注〕詳細は、6ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。〕

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第2四半期	281,500株	21年3月期	281,500株
② 期末自己株式数	22年3月期第2四半期	20,731株	21年3月期	18,864株
③ 期中平均株式数(四半期累計期間)	22年3月期第2四半期	261,080株	21年3月期第2四半期	270,658株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の個別業績予想及び次ページの連結業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものです。実際の業績はさまざまな要因によりこれらの業績予想とは異なる可能性があります。

平成22年3月期の連結業績予想（平成21年4月1日～平成22年3月31日）

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	5,234	—	340	—	364	—	177	—	679	05

(注) J-netレンタリース株式会社の子会社化(平成21年9月7日公表)に伴い、平成22年3月期第3四半期より連結財務諸表を作成いたします。

## 【定性的情報・財務諸表等】

## 1. 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、金融危機の影響による急激な景気悪化に底入れの兆しがあるものの、企業収益の低下による雇用情勢の悪化や設備投資の抑制、個人消費の低迷など、依然として不透明な状況が続いております。

当社の属する中古車輸出業界におきましても、金融危機及び一部の国における輸入規制強化の影響により、輸出台数は前年同四半期に対して50%近く減少いたしました。さらに、円高の影響により収益が低下し、事業縮小若しくは廃業に追い込まれる企業が増加しております。また、国内新車販売はエコカーを中心に復調の兆しがあるものの、廃車にして乗り換えることが補助金の要件となるなど、中古車市場へ供給される台数は前事業年度に引き続き低迷し、仕入れ価格が高騰しております。

このような状況のなか当社は、主力販売先であるアフリカ地域、需要が旺盛なオセアニア地域において開催された企業展に出展したことにより、当社の知名度を向上させ、現地中古車ディーラーをはじめ個人顧客の新規獲得を図りました。また、時差による機会損失を回避するため電話での対応時間を延長し、カスタマーサービスの向上に努めました。これら施策により売上台数を維持し、マーケットシェアの拡大を図ることができました。

さらに、東南アジアにおいて日本製中古車の仕入ルートを開拓し、直接海外へ販売できる体制を確立いたしました。同地域においては、当社の主力販売先であるアフリカ地域での需要が多く国内オークション市場では供給量が少ないSUV車輛を仕入れることができ、更なるラインアップの充実につながりました。この仕入に加え、前事業年度より強化してきました受託販売及びグループ会社からの仕入により、国内オークション市場での供給量の減少による価格上昇の影響を最小限に抑制することができました。

この結果、経営成績は以下のとおりとなりました。

## (1) 売上高及び営業利益

販売台数についてはほぼ横ばいで推移したものの、円高の影響により販売単価は低下し、売上高1,638百万円と前年同四半期と比べ501百万円(23.4%)の減収、営業利益89百万円と前年同四半期と比べ101百万円(53.2%)の減益となりました。

## (2) 経常利益及び四半期純利益

土地に係る受取賃貸料が発生しておりますが、円高により米ドル建て金融資産に係る為替差損が発生し、経常利益119百万円と前年同四半期と比べ113百万円(48.7%)の減益、四半期純利益72百万円と前年同四半期と比べ19百万円(21.4%)の減益となりました。

※平成21年3月期第2四半期決算短信におきましては、第2四半期会計期間の経営成績に関する定性情報を記載しておりましたが、当第2四半期決算短信より、第2四半期累計期間の経営成績に関する定性情報を記載しております。

## 2. 財政状態に関する定性的情報

## (1) 資産

流動資産は、前事業年度末に比べて5.5%増加し、1,496百万円となりました。これは主に、現金及び預金が172百万円増加し、売掛金が13百万円減少したことによるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べて1.0%減少し、2,633百万円となりました。これは主に、投資有価証券が48百万円増加し、繰延税金資産が75百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、前事業年度末に比べて1.3%増加し、4,130百万円となりました。

(2) 負債

流動負債は、前事業年度末に比べて17.1%増加し、634百万円となりました。これは主に、買掛金が20百万円増加し、前受金が53百万円増加したことによるものであります。

固定負債は、前事業年度末に比べて25.0%減少し、300百万円となりました。これは主に、長期借入金が100百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、前事業年度末に比べて0.8%減少し、934百万円となりました。

(3) 純資産

純資産は、前事業年度末に比べて1.9%増加し、3,195百万円となりました。

(4) キャッシュ・フロー

当第2四半期会計期間末の現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前事業年度末と比較して172百万円増加し、866百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において、営業活動の結果獲得した資金は315百万円(前年同四半期は0百万円の獲得)となりました。これは主に税引前四半期純利益124百万円(前年同四半期は158百万円)及びその他流動負債の増加53百万円(前年同四半期は68百万円)があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において、投資活動の結果獲得した資金は0百万円(前年同四半期は311百万円の使用)となりました。これは主に貸付けによる支出970百万円(前年同四半期は662百万円)及び貸付金の回収による収入970百万円(前年同四半期は400百万円)があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において、財務活動の結果使用した資金は133百万円(前年同四半期は130百万円の使用)となりました。これは長期借入金の返済による支出100百万円(前年同四半期は100百万円)及び配当金の支払26百万円(前年同四半期は27百万円)があったことによるものであります。

### 3. 業績予想に関する定性的情報

中古車輸出業界におきましては、円高の影響等により厳しい状況が続くことと予想されます。このような厳しい状況のなか当社は、平成21年10月1日においてJ-net レンタリース株式会社を子会社化(平成21年9月7日公表)し、事業拡大を図ってまいります。今回の子会社化により、J-net レンタリース車輛の委託販売取扱量を増加させ、その相乗効果により連結収益の向上が見込めます。将来的には、当社及びJ-net レンタリース株式会社のノウハウを活かし、海外市場において自動車販売及びレンタカー事業をF C展開することで、業界における確固たる地位の確立を目指してまいります。

なお、J-net レンタリース株式会社は当社の連結子会社となり、平成22年3月期第3四半期より連結財務諸表を作成いたします。今回の株式の取得により、のれん110,862千円が発生し、20年間の均等償却をいたします。当該償却額につきましては、平成21年9月7日に発表いたしました平成22年3月期通期連結業績予想に織り込み済みであり、業績予想の変更はございません。また、平成22年3月期個別業績予想につきましても、平成21年5月14日に発表いたしました数値からの変更はございません。

今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

#### 4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

② 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前事業年度以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前事業年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期財務諸表】  
 (1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成21年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	866,030	693,841
売掛金	47,059	60,719
商品及び製品	344,306	346,899
原材料及び貯蔵品	5,870	4,844
その他	235,162	316,243
貸倒引当金	△1,619	△3,227
流動資産合計	1,496,809	1,419,320
固定資産		
有形固定資産		
土地	2,064,413	2,064,413
その他(純額)	141,627	160,110
有形固定資産合計	2,206,040	2,224,523
無形固定資産		
投資その他の資産	65,444	44,142
その他	426,169	455,076
貸倒引当金	△64,117	△64,242
投資その他の資産合計	362,052	390,834
固定資産合計	2,633,537	2,659,500
資産合計	4,130,346	4,078,821
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	47,819	27,741
1年内返済予定の長期借入金	200,000	200,000
未払法人税等	3,467	—
賞与引当金	15,156	14,730
その他	368,522	299,959
流動負債合計	634,964	542,430
固定負債		
長期借入金	300,000	400,000
固定負債合計	300,000	400,000
負債合計	934,964	942,430
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,349,000	1,349,000
資本剰余金	1,174,800	1,174,800
利益剰余金	1,274,016	1,227,525
自己株式	△600,619	△584,522
株主資本合計	3,197,196	3,166,803
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△1,813	△30,413
評価・換算差額等合計	△1,813	△30,413
純資産合計	3,195,382	3,136,390
負債純資産合計	4,130,346	4,078,821

(2) 【四半期損益計算書】  
【第2四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
売上高	2,139,682	1,638,578
売上原価	1,584,190	1,214,420
売上総利益	555,491	424,158
販売費及び一般管理費	364,165	334,534
営業利益	191,326	89,623
営業外収益		
受取利息	9,825	2,755
受取配当金	3,167	4,310
受取賃貸料	43,146	43,146
その他	10,447	9,579
営業外収益合計	66,586	59,791
営業外費用		
支払利息	5,575	3,722
為替差損	—	10,261
不動産賃貸原価	17,377	15,155
その他	2,420	1,040
営業外費用合計	25,373	30,180
経常利益	232,539	119,233
特別利益		
固定資産売却益	1,400	—
貸倒引当金戻入額	2,000	1,733
助成金収入	4,131	5,171
特別利益合計	7,532	6,904
特別損失		
固定資産売却損	131	18
固定資産除却損	—	1,165
有価証券評価損	23,329	—
投資有価証券評価損	35,242	—
子会社株式評価損	15,930	—
その他	6,457	—
特別損失合計	81,092	1,183
税引前四半期純利益	158,979	124,954
法人税、住民税及び事業税	85,550	693
法人税等調整額	△19,167	51,507
法人税等合計	66,383	52,200
四半期純利益	92,595	72,753



(3) 【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	158,979	124,954
減価償却費	29,186	21,018
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,112	△1,733
賞与引当金の増減額 (△は減少)	4,022	426
受取利息及び受取配当金	△12,992	△7,066
支払利息	5,575	3,722
為替差損益 (△は益)	△1,715	10,172
有価証券評価損益 (△は益)	23,329	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	51,173	—
投資有価証券売却損益 (△は益)	1,804	—
有形固定資産売却損益 (△は益)	△1,269	18
売上債権の増減額 (△は増加)	5,286	13,660
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△146,025	1,527
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△12,791	2,280
その他の固定資産の増減額 (△は増加)	2,932	1,673
仕入債務の増減額 (△は減少)	4,005	20,077
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△22,744	△7,770
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	68,584	53,274
その他	600	1,165
小計	156,826	237,402
利息及び配当金の受取額	12,300	7,092
利息の支払額	△5,575	△3,722
法人税等の支払額	△162,643	74,333
営業活動によるキャッシュ・フロー	908	315,106
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△64,278	△1,452
有形固定資産の売却による収入	2,660	14
無形固定資産の取得による支出	△12,144	△5,596
投資有価証券の売却による収入	24,084	—
貸付けによる支出	△662,572	△970,670
貸付金の回収による収入	400,800	970,766
その他	—	7,327
投資活動によるキャッシュ・フロー	△311,450	389
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△100,000	△100,000
自己株式の取得による支出	△3,818	△6,984
配当金の支払額	△27,006	△26,150
財務活動によるキャッシュ・フロー	△130,824	△133,135
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,715	△10,172
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△439,651	172,188
現金及び現金同等物の期首残高	983,007	693,841
現金及び現金同等物の四半期末残高	543,356	866,030

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。